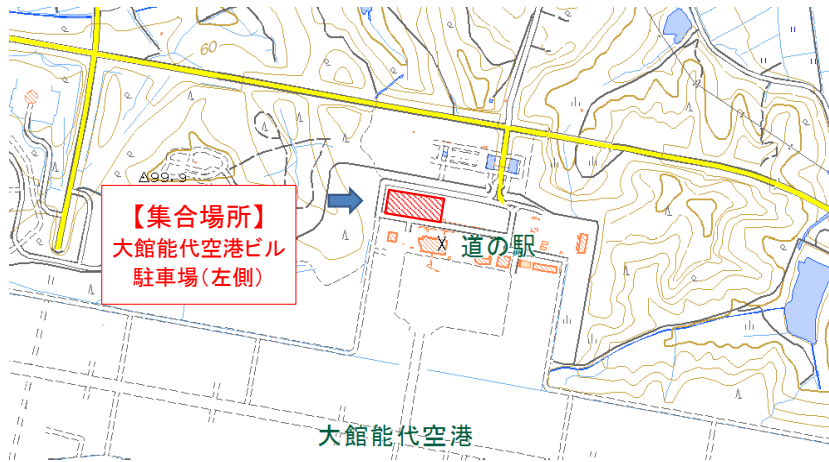


《日本海沿岸東北自動車道》

たかのす おおだて おおだてのしろくこう たかのす
鷹巣大館道路(大館能代空港IC～鷹巣IC)
地元企業を対象とした走行体験会を開催します

3月21日(水)開通の鷹巣大館道路(大館能代空港IC～鷹巣IC)に先立ち、大館能代空港から大館市や関東方面への物流ルート等の効果、アクセス性の向上を実体験して頂くため、大館市、北秋田市、能代市の企業を対象として、走行体験会を開催します。報道関係者も同行できます。

1. 日 時 : 平成30年 3月14日(水)
13時30分 ~ 15時30分終了(予定)
2. 場 所 : 鷹巣大館道路(大館能代空港IC～鷹巣IC)
3. 集合場所 : 大館能代空港 駐車場



記者発表先: 能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ
問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

TEL 0185-70-1001(代)

副所長(道路担当) きむら 木村 きょういち 恭一 (内線205)

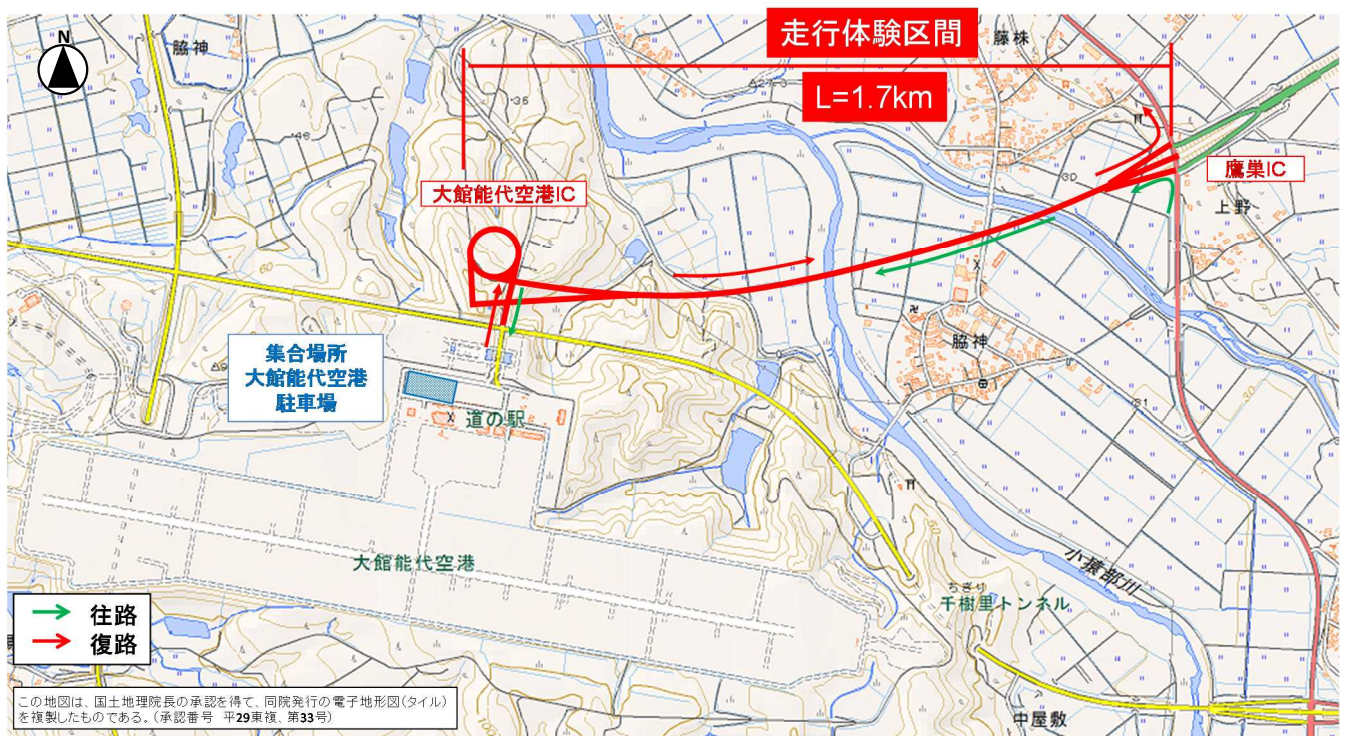
調査第二課長 かのう 加納 たかし 尚史 (内線451)

走行体験会のお知らせ 鷹巣大館道路（大館能代空港IC～鷹巣IC間）

平成30年3月21日（水）の開通に先立ち、バス乗車による走行体験会を開催します。実際に走行することで大館能代空港のアクセス性の向上や大館市への短縮効果を実感していただき、新たな物流ルートの確認や通勤ルート及び求人対象範囲の拡大の検討等、創業の効率化に役立てて頂きたいと考え実施するものです。

- 開催日時：平成30年3月14日（水）13：30～15：30
- 体験区間：鷹巣大館道路 開通区間1.7km（大館能代空港IC～鷹巣IC）
- 対象企業：大館市、北秋田市、能代市に所在する企業
- 行程：13:30 大館能代空港駐車場に集合、事前説明
13:40 鷹巣ICから乗り入れ、折り返し
14:30 大館能代空港駐車場到着
14:40 企業参加者へのインタビュー
- 当日はバスを用意しております。

日本海沿岸東北自動車道 鷹巣大館道路

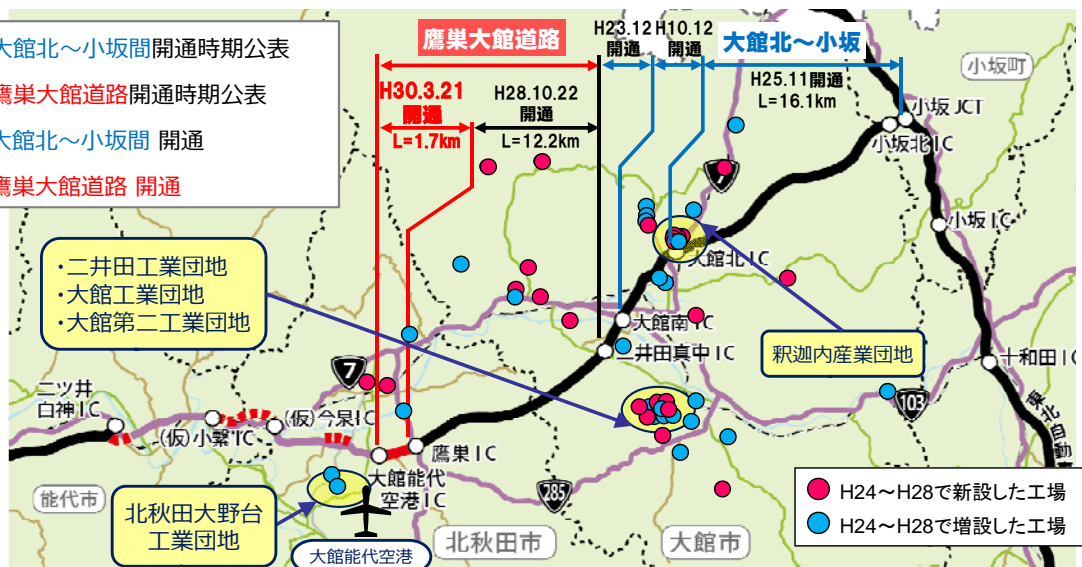


進むネットワーク化が県北の企業進出・新規雇用を後押し

- 日沿道の開通時期公表や開通延伸に伴い、北秋田市ではH22年度から8年間で12社が工場を新增設し、新たに128名の雇用が創出。大館市も同様に工場の新增設が急増、総所得額が増加するなどの効果が発現しています。
- 今回の開通により、継続的な産業活動の後押しが期待されます。

■大館市・北秋田市の近年における主な新設・増設工場

- H23.4 大館北～小坂間開通時期公表
- H25.6 鷹巣大館道路開通時期公表
- H25.11 大館北～小坂間 開通
- H28.10 鷹巣大館道路 開通



●日沿道の整備が進んだことにより、市内の工業団地の立地上の優位性が増し、企業から工場の新設や増設に伴う問合せが増加、H29年度も数社より問合せを頂いています。(大館市 産業部 / H29.10ヒアリング)



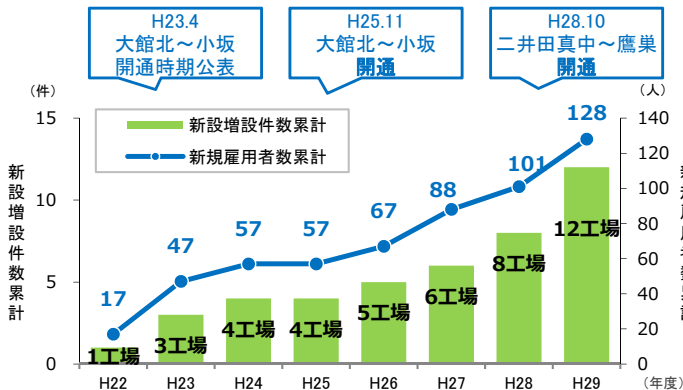
◆大館市の経済への影響(H24年度～H28年度)・投資額 約598億円・経済波及効果 約1,205億円*

*H24年度～H28年度の各年の経済波及効果額の総和 出典：大館市

■北秋田市の新增設件数と新規雇用者数*1の推移

*1: 正規雇用者数

8年間で12社128名の雇用を創出



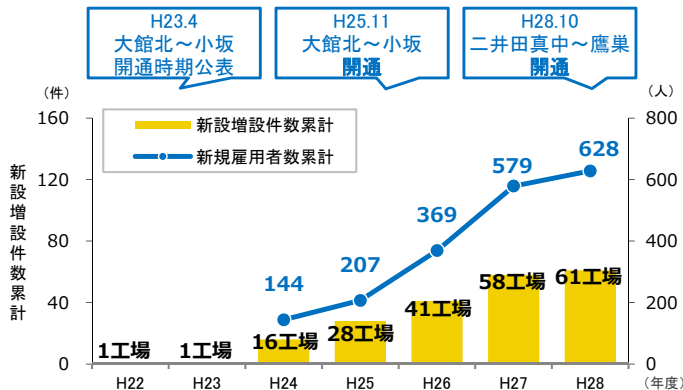
※工場数はH22からの累計値

出典：北秋田市

■大館市の新設増設件数と新規雇用者数*2の推移

*2: パート含みの雇用者数

61工場が新增設

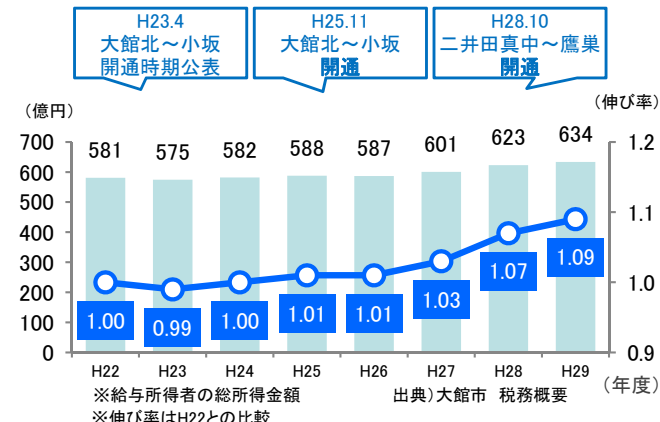


※工場数はH22からの累計値

出典)大館市資料

■大館市の総所得額の推移

総所得額が増加

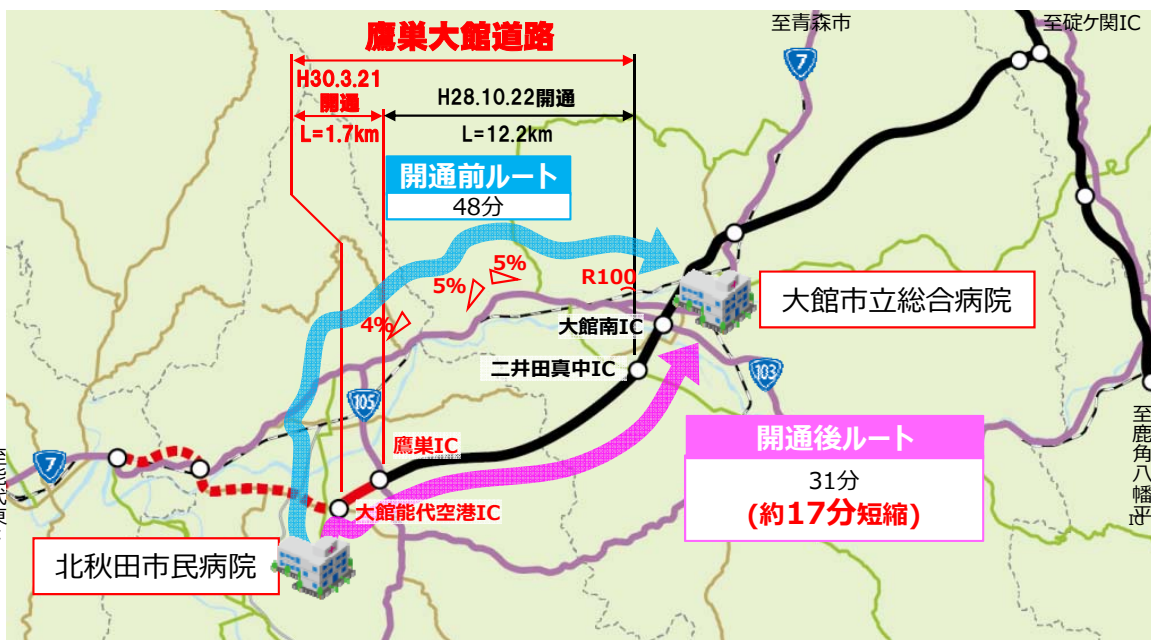


※給与所得者の総所得金額 出典)大館市 税務概要 (年度)
※伸び率はH22との比較

安定・迅速な救急搬送を支援

- 北秋田市民病院では、搬送中の揺れや振動に特に注意の必要な脳疾患と外傷の管外搬送において、大館・弘前方面への割合が増加傾向。
- 鷹巣大館道路の開通に伴う搬送時間短縮や走行時の安定性の確保（搬送中の揺れや振動の減少）により、脳疾患をはじめとする搬送患者の負担が軽減されており、今回の開通により更なる安定搬送への支援が期待されます。

■北秋田市民病院から大館市立総合病院への搬送時間の変化

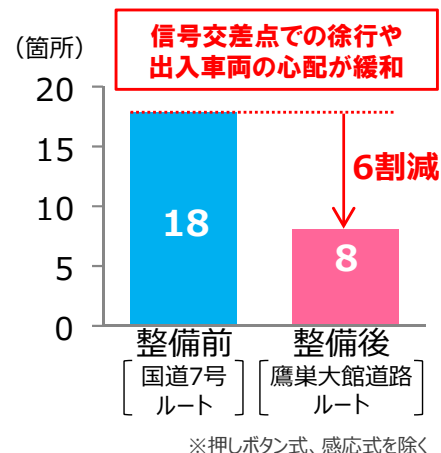


資料：北秋田市消防本部提供【開通前：H28.4～10(開通前)、開通後：H28.10(開通後)～12の搬送データ】
所要時間：民間プローブデータ (H28.1～2 のデータを用いて開通前の時間を算出。開通後は鷹巣大館道路を70kmとして計算)

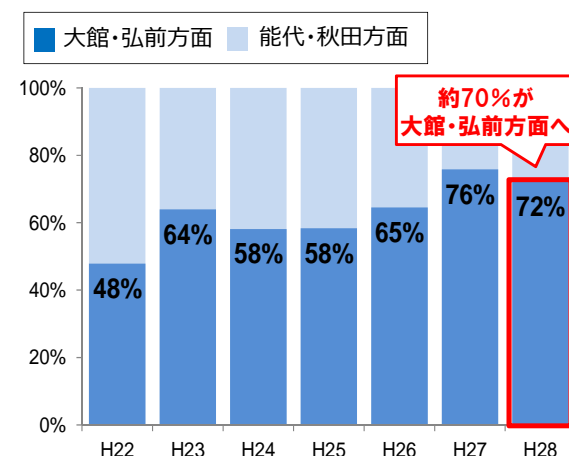
- ・開通後は、**北秋田市民病院から大館市立総合病院への転院搬送に100%利用しています。**
 - ・信号交差点での徐行や出入車両への心配が少なくなり、**搬送員の精神的負担も軽減**されています。
 - ・**空港ICまで繋がればさらに効果があると期待**しています。
 - ・脳疾患や外傷患者の搬送が多く、**搬送中の揺れや振動に、これまでは特に気を遣っていました。**
- 鷹巣大館道路は**安定走行**できるので、**患者への影響が小さく、より良い状態で搬送**できています。

(北秋田市消防本部 / H29.9ヒアリング)

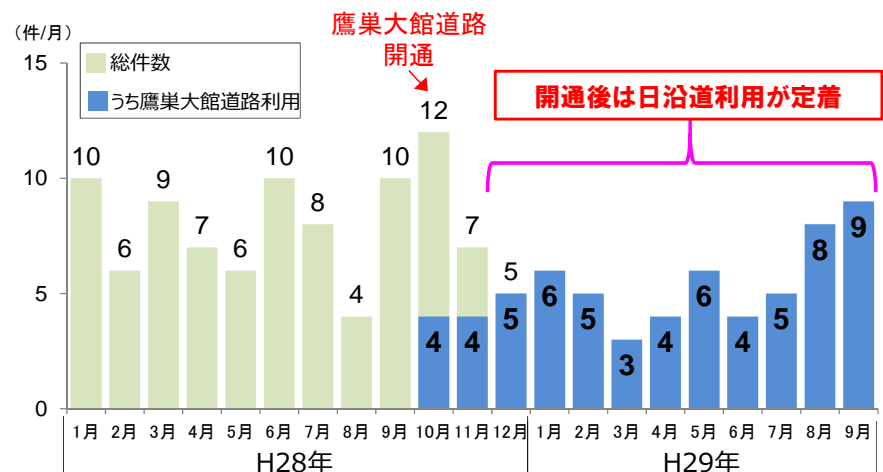
■搬送ルートの信号交差点数



■脳疾患・外傷患者の管外搬送先割合



■北秋田市から大館・弘前方面への道路利用状況



資料：北秋田市消防本部

開通1年後の利用状況

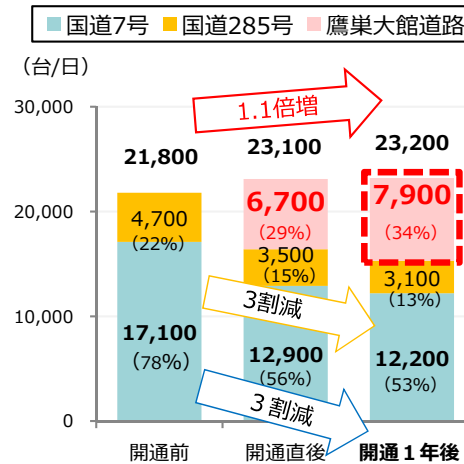
<交通状況>

- 開通1年後の交通量(平日)は約7,900台/日(断面交通量1.1倍増)。大型車混入率も堅調に推移
- 今回開通により国道7号の冬期の走行性が向上。既開通区間の交通量も増加(約1.1~3.6倍)

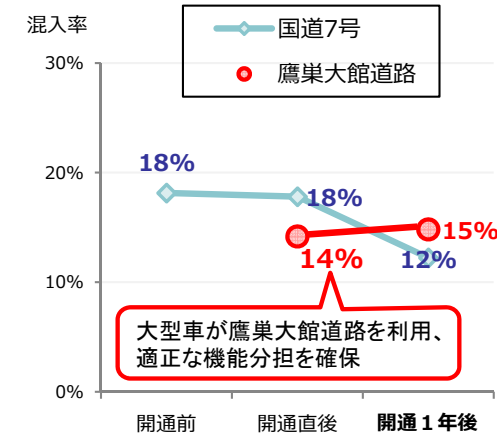


- 開通後交通量は約7,900台/日(A-A断面交通は1.1倍増加)
- 並行現道(国道7号、国道285号)は約3割減少
- 大型車混入率は高規格道路が15%、国道7号は12%(6%減少)

■断面交通量の変化



■大型車混入率の変化

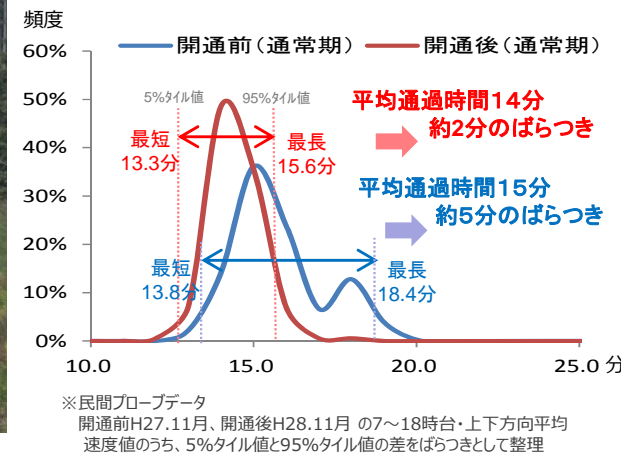


開通区間の交通状況



■国道7号の通過時間分布 (大堤交差点~立花交差点)

- 国道7号の主要渋滞箇所では定時性・信頼性が向上



■既開通区間の交通量の変化

- 日沿道の延伸により、既開通区間の交通量が増加

